

- 1 決勝戦で負けた。仲間はコートで泣いていた。主将のぼくは、なみだが出なかった。この一年、やれることは全部やったと思えたからだ。けれど、泣いている仲間を見ると、自分だけ平気な顔でいるのが悪い気がして、目をふせた。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、ぼくの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① 満足 と ほこらしさ
- ② くやしさと ほこらしさ
- ③ 満足 と もうしわけなさ
- ④ くやしさと もうしわけなさ

こたえ

- 2 同じ日に習い始めたのに、友だちはもう次の級に進んだ。わたしは、まだ同じ級のままだ。友だちの合格を、うまく「おめでとう」と言えなかった。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、わたしの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① あきらめ
- ② 喜び
- ③ てれくささ
- ④ くやしさ

こたえ

- 3 親友のゆいが転校すると聞いてから、わたしは一週間、何をしても元気が出なかった。お別れ会の日、ゆいが言った。「転校先、となりの町なんだ。自転車で二十分だよ。」わたしは思わず「え、それだけ？」と言い、二人で大笑いした。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

わたしの 気持ちは、どう 変わりましたか。

- ① さびしさ → ひょうしぬけ
- ② いかり → ひょうしぬけ
- ③ さびしさ → あきらめ
- ④ いかり → あきらめ

こたえ

1 こたえ：③ 満足 と もうしわけなさ

★線をひくところ（赤いことば）

決勝戦で負けた。仲間はコートで泣いていた。主将のぼくは、なみだが出なかった。この一年、やれることは全部やったと思えたからだ。けれど、泣いている仲間を見ると、自分だけ平気な顔でいるのが悪い気がして、目をふせた。

手がかり：

負けても『なみだが出なかった』『やれることは全部やったと思えた』＝くやしさではなく満足／泣いている仲間を見て『悪い気がして』目をふせる＝ほこらしさではなく、もうしわけなさ。

2 こたえ：④ くやしさ

★線をひくところ（赤いことば）

同じ日に習い始めたのに、友だちはもう次の級に進んだ。わたしは、まだ同じ級のままだ。友だちの合格を、うまく「おめでとう」と言えなかった。

手がかり： 同じ日に始めた友だちは先へ、

自分は同じ級のままだ／合格を素直に『おめでとう』と言えない＝照れではなく、自分がおとって見えるくやしさ・情けなさ。

3 こたえ：① さびしさ → ひょうしめけ

★線をひくところ（赤いことば）

親友のゆいが転校すると聞いてから、わたしは一週間、何をしてても元気が出なかった。お別れ会の日、ゆいが言った。「転校先、となりの町なんだ。自転車で二十分だよ。」わたしは思わず「え、それだけ？」と言い、二人で大笑いした。

手がかり： はじめは『何をしてても元気が出なかった』＝いかりではなく、さびしさ／『え、それだけ？』と大笑い＝あきらめではなく、思っていたほどではなかったひょうしめけ。